

〔別添2〕

兵庫県最先端技術研究事業(COEプログラム) 研究概要

□研究プロジェクトの概要

研究プロジェクト名	ジャガード織を用いた播州織の高付加価値製品の開発と北播磨の地場産業の活性化
代表機関	神戸芸術工科大学
共同研究チーム構成機関	株式会社 丸萬
研究分野	応用ステージ研究

□研究の概要

【①研究プロジェクトの概要、特色】

兵庫県の代表的な地場産業である播州織の衰退を防ぐためには、受託加工型産地から市場開拓型産地への構造的変換が必須である。市場では、高感度で高品質なテキスタイルに関心が高まっており、日本古来よりある素材の箔を織り込む技術を播州織に取り入れるなど播州織のジャガード織のポテンシャルを高め、日本でなければ生まれない高感度、高品質な独自のテキスタイルの開発を行う為の研究を行う。

【②研究の成果】

今回の研究で、播州織の高付加価値製品の開発として、ジャパंकオリティを際立たせる為、播州織の産地において使用されていない箔使いの技術開発が最重要であった。研究を行い、播州織に箔糸を織り込むことができ、高付加価値製品への開発の巾が広がり前進できたと考える。研究を通し、テキスタイルデザインの提案力を高めるためには試作における実験が必要不可欠である。が、生産を行う産地での開発のための試作実験には時間や労力に限界がある。大学に織機などの設備を充実させ、日常的に実験を継続することでスピード化を計り、技術に適合したデザインの精度を高めることが必要である。

【③来年度研究の計画】

今年度でCOEプログラムは終了するが、学内にて引き続き研究を継続し、更なる高付加価値製品の開発を行う。現状の海外マーケットのトレンドを把握し、調査を行い、ラグジュアリーマーケットに対する提案や異業種、例えばインテリア業界等への高価格帯商品向けへの提案・参入へも視野を広げた開発を行う。と同時に、将来、大学での教育、産地の後継者育成を統合したプログラムへと発展し、さらなる地域産業への貢献へとつなげていきたいと考える。

【④本格的研究への展開】

先染織物の播州織のコンピュータジャガードはポテンシャルが高く、多様な表現が可能である。「ジャパंकオリティ」というコンセプトを持つことにより、日本でなければ作れないデザイン、北播磨でなければ生み出すことができない播州織の地域特性を際立たせ、延いてはジャガード織だけではなく、播州織そのもののポテンシャルを高めることを目指す。

【⑤今後の事業化に向けた展開】

ラグジュアリーブランドへ高付加価値のジャガード生地の販売実績を経る。また早期にトレンドをつかみ、市場規模の大きいマスマーケットへの生地の開発や提案の精度とスピードの双方を高め、売上規模の拡大と提案力の向上に取り組む。

【⑥地域的波及効果】(技術基盤強化等の効果、地域社会・経済発展への寄与)

播州織は、生産高の減少に比例して従業員数も激減し、地域の地場産業を担うべき若者が県外流出している。先染織物の播州織は染色、整経、製織、加工と多くの工程が必要あるが、その多くが零細企業で成り立っており、後継者がなく廃業する家族経営の工場も多い。播州織の振興は、経済効果だけでなく、若者に仕事の間を創出し、人口流出に歯止めをかける効果は期待できる。また、長い歴史を持つ先染綿織物の播州織は北播磨の根ざした地場産業であり、播州織の存続は地域の住民の心のよりどころであり、その波及効果は計り知れない。